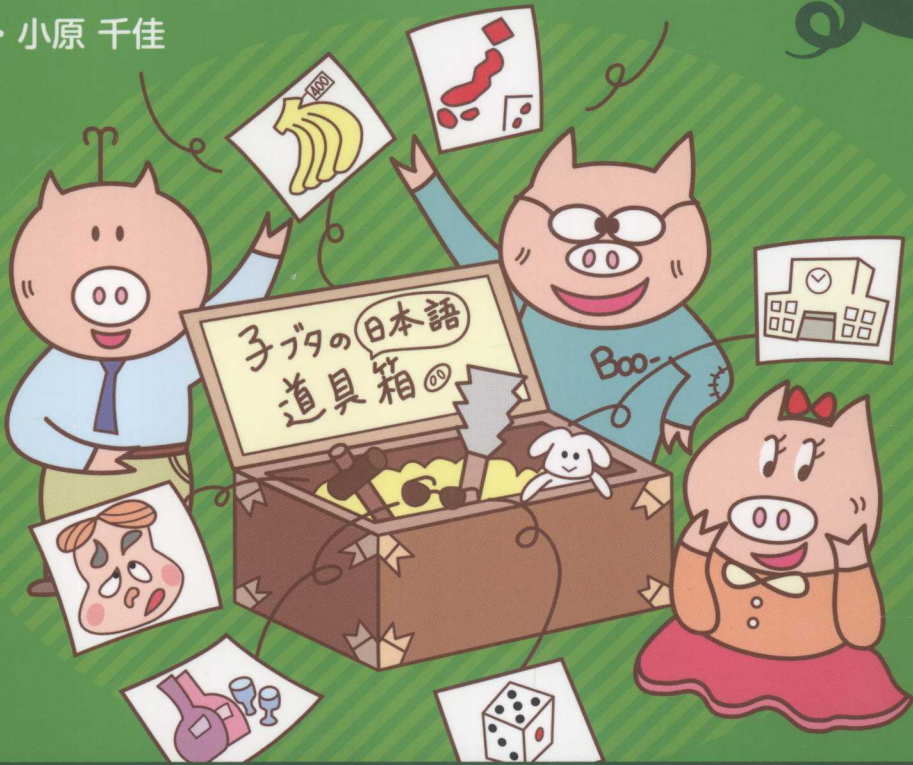


日本語教師のための 楽しく教える 活動集22

子ブタの
日本語
お道具箱

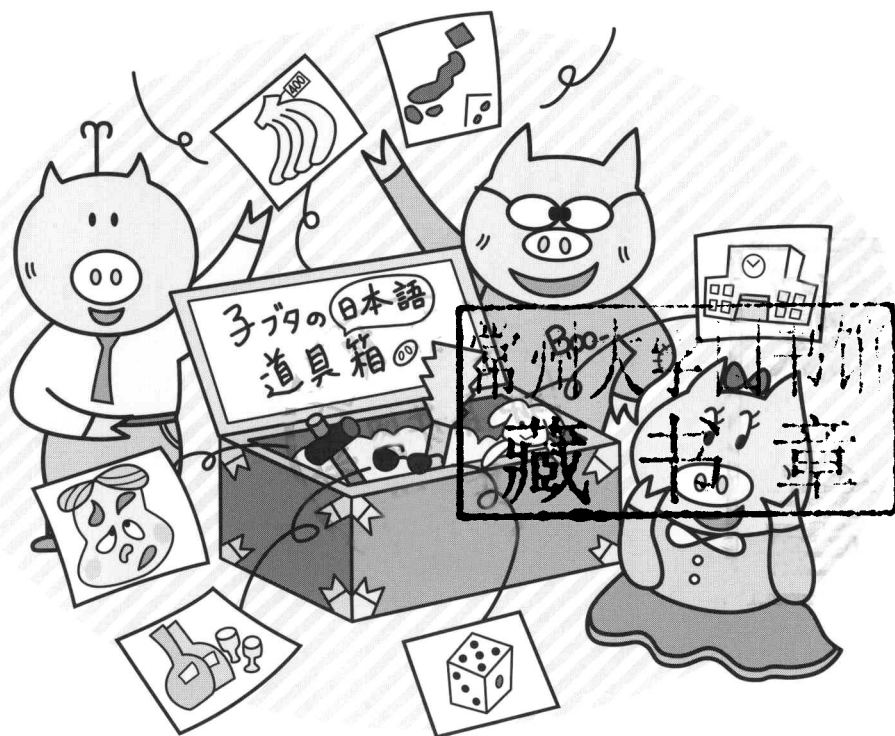
辻 亜希子・小原 千佳



- ① 22のテーマで、87の「使い方」を披露！
- ① すごろく、福笑い、カルタなどで楽しみながら日本語表現を身に付ける！
- ① 初～中級日本語学習者向けエンターテインメント教材！
- ① ボランティア教室、日本語学校、小中学校での日本語指導に最適！

日本語教師のための 楽しく教える 活動集22

子ブタの
日本語
お道具箱



著者プロフィール

辻 亜希子 (つじ あきこ)

マッコーリー大学大学院M.A. (Japanese studies)。外資系銀行勤務時代、上司の使う「？」な日本語が気に入り、21世紀になるのを境に日本語教師の世界へ。「大胆かつ繊細」を座右の銘に、学習者の「？」を「！」にすべく、日々、東奔西走中。

小原 千佳 (おばら ちか)

東北学院大学法学部法律学科卒業。法律事務所勤務、大学教授秘書を経て、家族と共にイギリス・ケンブリッジに滞在。日本語教師歴10年。「すべての経験は自分にとって意味のあること」をモットーとしている。

日本語教師のための 楽しく教える活動集22

子ブタの日本語お道具箱

2012年2月28日 (初版)

著 者 辻 亜希子・小原千佳

企 画 株式会社アルク日本語書籍編集部

編 集 浅野陽子 (創作集団にほんご)

デザイン・DTP 株式会社創樹

イラスト 小原千佳

印刷・製本 萩原印刷株式会社

発 行 者 平本照磨

発 行 所 株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12

TEL 03-3327-1101 FAX 03-3327-1300

Email csss@alc.co.jp

Website <http://www.alc.co.jp>

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル
「地球人マーク」です。

落丁本、乱丁本は、弊社にてお取り替えいたしております。弊社カスタマーサービス部(電話: 03-3327-1101 受付時間: 平日9時～17時)までご相談ください。本書の全部または一部の無断転載を禁じます。著作権法上で認められた場合を除いて、本書からのコピーを禁じます。

Printed in Japan. ©2012 Akiko Tsuji/Chika Obara/ALC Press Inc.

PC: 7012008

ISBN: 978-4-7574-2080-9

はじめに

本書は、日本語学習の「エンターテインメント教材」です。

外国人の方に、

「楽しく」「楽に」日本語を学んでももらいたい!

そんな、私たちの願いから生まれたものです。

語学学習というと、基礎からの積み重ね、反復練習などと、堅苦しい面が多々あります。しかし、そのつらさを感じることなく、クラス内では皆に笑いが絶えず、かつ日本語がスムーズに頭に入っていた、という授業を理想に、教材を作成しました。ですから、ゲームやワークのなかにも、文型表現はもちろん、日本での生活に役立つ知識や日本文化もしっかりと入っています。

そしてまた、本書は、教え方のヒント集でもあります。日本語を指導する方々が、本書を土台に、目の前の学習者に合わせてさまざまなアイデアを加え、一層充実した授業を作り上げてください。学ぶことが心から楽しいと思えるような授業を目指して、指導者も、学習者と共に学んでいただければと思います。

本書を使った授業で、日本語教師の皆様、ボランティアの皆様、そして学習者全員に、笑顔があふれることを願ってやみません。

本書は、『月刊日本語』（アルク刊）に、2007年4月号から2009年3月号まで連載されたものを、一から見直し、まとめ直しました。出版に際し、私たちを叱咤激励し続けてくださった編集担当の浅野陽子さん、さまざまな知恵を提供してくださった高久省三先生に Special Thanks!!

2012年1月

辻 亜希子

小原 千佳

目次

内容一覧	6
------------	---

この本の使い方	10
---------------	----

日本語学習

(本文) (絵カード)

1課	五十音の文字を学ぶ	14	132
2課	自動詞・他動詞を学ぶ	19	136
3課	数え方を学ぶ	23	140
4課	時の表現を学ぶ	28	146
5課	擬音語・擬態語を学ぶ	34	150
6課	比較する表現を学ぶ	38	154
7課	敬語を学ぶ	45	158
8課	語彙を増やす	51	162
9課	ストーリーを作る	55	166

生活の中から

1課	病院・薬局で使う表現	62	170
2課	地図を見ながら道順を説明する	68	174
3課	路線図を見ながら移動する	72	178
4課	料理・食事の表現	78	182

日本文化体験

1課	日本文化を知る	84	186
2課	贈り物の習慣	90	190
3課	俳句を作ってみる	96	194
4課	年賀状を書いてみる	101	198
5課	慣用句を知る	106	203

ゲームとワーク

1課	福笑いで、顔を表現	112	207
2課	新聞を作ろう	117	211
3課	文型の復習をしながら「ブタえもん」を作ろう	121	215
4課	文型復習総まとめ	125	218

日本語教師のための 楽しく教える 活動集22

子ブタの
日本語
お道具箱



はじめに

本書は、日本語学習の「エンターテインメント教材」です。

外国人の方に、

「楽しく」「楽に」日本語を学んでもらいたい!

そんな、私たちの願いから生まれたものです。

語学学習というと、基礎からの積み重ね、反復練習などと、堅苦しい面が多々あります。しかし、そのつらさを感じることなく、クラス内では皆に笑いが絶えず、かつ日本語がスムーズに頭に入っていた、という授業を理想に、教材を作成しました。ですから、ゲームやワークのなかにも、文型表現はもちろん、日本での生活に役立つ知識や日本文化もしっかりと入っています。

そしてまた、本書は、教え方のヒント集でもあります。日本語を指導する方々が、本書を土台に、目の前の学習者に合わせてさまざまなアイデアを加え、一層充実した授業を作り上げてください。学ぶことが心から楽しいと思えるような授業を目指して、指導者も、学習者と共に学んでいただければと思います。

本書を使った授業で、日本語教師の皆様、ボランティアの皆様、そして学習者全員に、笑顔があふれることを願ってやみません。

本書は、『月刊日本語』（アルク刊）に、2007年4月号から2009年3月号まで連載されたものを、一から見直し、まとめ直しました。出版に際し、私たちを叱咤激励し続けてくださった編集担当の浅野陽子さん、さまざまな知恵を提供してくださった高久省三先生に Special Thanks!!

2012年1月

辻 亜希子

小原 千佳

目次

内容一覧	6
------------	---

この本の使い方	10
---------------	----

日本語学習

(本文) (絵カード)

1課	五十音の文字を学ぶ	14	132
2課	自動詞・他動詞を学ぶ	19	136
3課	数え方を学ぶ	23	140
4課	時の表現を学ぶ	28	146
5課	擬音語・擬態語を学ぶ	34	150
6課	比較する表現を学ぶ	38	154
7課	敬語を学ぶ	45	158
8課	語彙を増やす	51	162
9課	ストーリーを作る	55	166

生活の中から

1課	病院・薬局で使う表現	62	170
2課	地図を見ながら道順を説明する	68	174
3課	路線図を見ながら移動する	72	178
4課	料理・食事の表現	78	182

日本文化体験

1課	日本文化を知る	84	186
2課	贈り物の習慣	90	190
3課	俳句を作ってみる	96	194
4課	年賀状を書いてみる	101	198
5課	慣用句を知る	106	203

ゲームとワーク

1課	福笑いで、顔を表現	112	207
2課	新聞を作ろう	117	211
3課	文型の復習をしながら「ブタえもん」を作ろう	121	215
4課	文型復習総まとめ	125	218

内容一覧

分野	課	タイトル	この課で学ぶこと	この課に出てくる学習項目・文法など
日本語学習	1	五十音の文字を学ぶ	日本語学習の基本となる「ひらがな」をマスターする。似た文字、間違いやすい文字を整理しながら学ぶ。	ひらがな五十音
	2	自動詞・他動詞を学ぶ	自動詞・他動詞をゲーム感覚で覚える。ペアになる自動詞・他動詞を、助詞と一緒に覚える。	自動詞・他動詞、助詞
	3	数え方を学ぶ	日本語に多い助数詞をゲーム感覚で覚える。書き方、読み方、何にどの助数詞をどのように使うか学ぶ。	助数詞
	4	時の表現を学ぶ	さまざまな日にちの言い方・読み方を覚える。カレンダーやスケジュール表を使ってロールプレイをする。	助詞の確認
	5	擬音語・擬態語を学ぶ	日本語に多い擬音語・擬態語を、ゲーム感覚で覚える。一緒に使う動詞も覚える。	擬音語・擬態語
	6	比較する表現を学ぶ	比較の表現を、ゲーム感覚で学ぶ。日常によくある題材を使ってロールプレイをする。	比較表現
	7	敬語を学ぶ	敬語の形だけでなく、その概念を知り、実際の場面での使い方をロールプレイで学ぶ。	敬語
	8	語彙を増やす	ゲームを使って、楽しみながら、語彙を増やす。	
	9	ストーリーを作る	文をつなげることによって、状況を上手に説明する方法を学ぶ。文章作成力、会話力のアップへ。	接続表現
生活の中から	1	病院・薬局で使う表現	病気・けがなど、万が一のときに備えて、症状や薬に関する表現、問診票の書き方などを知る。	擬音語・擬態語
	2	地図を見ながら道順を説明する	自分の町の地図を作るなど、楽しみながら位置詞を身に付ける。実際に町に出ての活動にもつなげる。	位置詞、～に～がある
	3	路線図を見ながら移動する	電車・バスを利用するときの表現を身に付ける。実際の生活に結び付け、学習者の行動範囲を広げる。	助詞、位置詞
	4	料理・食事の表現	料理に関する言葉・表現や手順を表す表現を学ぶ。料理を通じて、各国の食文化についても知る。	助数詞、て形、接続詞

この課で学べる語彙	どんな学習者に役立つか	一緒に学ぶとよい課	活動の特徴	本文ページ	絵カードページ
ひらがな	入門学習者		自分で五十音表を作成	14	132
動詞（自動詞・他動詞）	初級学習者		ゲーム性大	19	136
さまざまなものの名前、助数詞	初級学習者		ゲーム性大	23	140
日・曜日などの表現	初級学習者		スケジュール表作成	28	146
擬音語・擬態語、それに付く動詞	初～中級学習者	病院・薬局で使う表現 (p62)	ゲーム性大	34	150
比較に使う語彙、部屋の間取りに関する語彙	初～中級学習者		ロールプレイ	38	154
敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）、動詞	初～中級学習者	贈り物の習慣 (p90)	ロールプレイ	45	158
さまざまなものの名前、動詞、形容詞	初級学習者		ゲーム性大	51	162
接続詞・接続助詞	初～中級学習者		ゲーム性大／創造力	55	166
病院・病気・薬に関する語彙、症状を表す擬音語・擬態語	初～中級学習者	擬音語・擬態語を学ぶ (p34)	ロールプレイ	62	170
町で見かけるものの名前、位置（場所）を示す語	初級学習者		ロールプレイ／実生活につなげる／調べる	68	174
電車・バスに関する語彙、道順を示す言葉、地名	初級学習者		ロールプレイ／実生活につなげる／調べる	72	178
料理・食べ物に関する語彙	初級学習者		実生活につなげる	78	182

内容一覧

分野	課	タイトル	この課で学ぶこと	この課に出てくる学習項目・文法など
日本文化体験	1	日本文化を知る	日本文化に特徴的な品物を通じ、日本の伝統文化を知る。ものの名前だけでなく、その使い方も知る。	説明する方法
	2	贈り物の習慣	日本の贈答文化や、そのマナーについて知る。そのときに使う「あげる・もらう」の表現を身に付ける。	「あげる・もらう」の表現、敬語
	3	俳句を作ってみる	俳句・川柳について知る。自由に、自分の気持ちを表現しながら、日本文化・日本的感覚に触れる。	俳句・川柳の作り方
	4	年賀状を書いてみる	年賀状を通じて、日本の文化・季節感を知る。はがきや手紙の書き方、縦書きのしかたも学ぶ。	書き方
	5	慣用句を知る	さまざまな慣用句を、自分の国のものと比べながら学び、そこから日本語独特の表現方法を知る。	慣用句
ゲームとワーク	1	福笑いで、顔を表現	福笑いを通じて、楽しみながら、顔の各パーツの名前、それらの状態の表現方法を学ぶ。	比喩表現（～のような）／状態の説明（～ている）
	2	新聞を作ろう	自分に関する新聞を作り、自分のさまざまな面をアピールする。話すことから、書くことの練習につなげる。	書き方
	3	文型の復習をしながら「ブタえもん」を作ろう	着せ替え人形のように、土台に何かをプラスしながら、その変化を表現する。文型の復習となる。	可能表現
	4	文型復習総まとめ	絵カードから、楽しいストーリーを作り出す。さまざまな文型を使って、自由に表現してみる。	文型の復習

この本で取り上げた学習項目（語彙・文法・文化など）の一覧表です。学習者のレベルや興味に合わせて、内容を選んでください。
学習は、どの課から始めても構いません。

この課で学べる語彙	どんな学習者に役立つか	一緒に学ぶとよい課	活動の特徴	本文ページ	絵カードページ
日本文化に関する語彙	中級学習者		ゲーム性大／調べる	84	186
贈る品物の名前、贈る場面に関する語彙	初～中級学習者	敬語を学ぶ (p45)	ロールプレイ／実生活につなげる	90	190
季節に関する語彙、季語	中級学習者		自己表現	96	194
年賀状に使う挨拶	学習者全般		実生活につなげる／自己表現	101	198
さまざまな慣用句	中級学習者		自己表現	106	203

顔の各パーツの名前	初～中級学習者		ゲーム性大	112	207
	初～中級学習者		創造力／自己表現	117	211
身に付けるものの名前	初級学習者		創造力／ゲーム性大	121	215
	初～中級学習者		創造力／ゲーム性大	125	218

この本の使い方 ―― 日本語を指導する方へ

この本の特徴

- この本は、教科書ではなく、日本語を学ぶ活動を支援するヒント集であり、素材集です。
- 学習者に「つらい勉強」ということを意識させずに、楽しみながら日本語を学んでもらうために作りました。

この本の構成

- 「日本語学習」「生活の中から」「日本文化体験」「ゲームとワーク」という4本の柱から成っています。それぞれの課で何が学べるかは、6～9ページの、「内容一覧」をご覧ください。
- それぞれの課の中には、「使い方1」「使い方2」というように、複数の使い方が紹介されていますが、これは、「使い方1」から順番にやらなくてはいけないというものではありません。学習者に合わせて「使い方」を選択してください。

どのような場で、どのような人に

- ボランティア教室で
クラス全体の活動として、2～3人のグループ活動として、プライベートレッスンで、と、さまざまな形で使えます。楽しみながら、親睦を深めながら、日本語を学習してください。
- 小・中学校での日本語指導に
日本人の児童・生徒と一緒に学ぶことができます。
- 日本語学校で
教科書の内容を定着させるための活動として使うことができます。ゲーム性を加えて、クラス活動を活発にするのに役立ちます。

それぞれの課について

- 学習者の人数、レベル、興味などに合わせて、指導する方が臨機応変にやり方を変えてください。

対 象： 1人 2~3人 クラス

使用教材：土台となる白地図「わたしのまち」と、それを埋めるパーツの絵カード（建物や人物など）。1人に1セット用意。

- 対 象：どんな形のクラスで使えるかを表示しています。
- 使用教材：ここで使う絵カードや、そのほかに用意すべきものを表示しています。

子ブタ先生のコラムについて

各課の「使い方」の中に、以下のようなコラムを設けてあります。

- 子ブタ先生の工夫：



子ブタ先生の工夫

その「使い方」をより楽しいもの、役立つものにするためのヒントを紹介しています。

- 子ブタ先生の注意点：



子ブタ先生の注意点

そこを学習する際に気を付けておきたいこと、指導上の注意などを紹介しています。

- 子ブタ先生の解説：



子ブタ先生の解説

そこで、学習者に説明しておきたい内容、文法項目などを紹介しています。

- 子ブタ先生の
覚えておきたい表現リスト：



子ブタ先生の覚えておきたい表現リスト

そこで、学習者に覚えてほしい表現を紹介しています。